

「おでかけ応援バス」の効果検証について

<概要>

これまで利用日を拡充してきた「おでかけ応援バス」について、高齢者の生きがいづくりや堺市への経済波及などの視点も含めて、制度の効果検証を実施しました。

※ 以下は、おでかけ応援カードの利用状況やアンケート調査結果から分析しています。

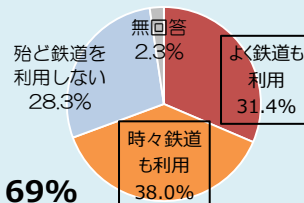
ポイント① 公共交通の利用促進及び維持確保に係る効果が確認できました

「おでかけ応援バス」があることで52.4%の人がバス利用が増えている

- 「おでかけ応援バス」があることで増加したバスの年間利用回数 **約226万回**
(おでかけ応援カード保有者一人あたりで換算すると、年間約16回のバス利用の増加)

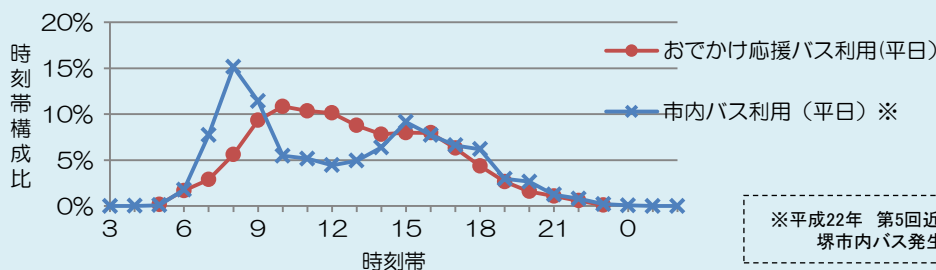
「おでかけ応援バス」利用時には、鉄道も乗り換えて利用する人が多い

- 「おでかけ応援バス」利用時に、よく鉄道も利用する人と時々鉄道も利用する人 **69%**



通勤や通学のピークから外れた時刻帯の利用者が多く、効率的なバス運行や路線の維持確保に寄与

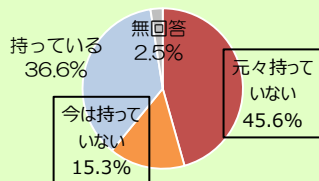
- 「おでかけ応援バス」利用のピークは10～12時台



ポイント② 高齢者の生きがいづくりに寄与していることが確認できました

車等を持たない高齢者の移動手段を確保

- 運転免許を持たない利用者の割合 **61%**



高齢者の外出機会や外出範囲が拡大

- 買い物や外食で出かける機会が増えた人 **40%**
- 親戚や友人に会う機会が増えた人 **26%**
- 以前より遠くに出かけるようになった人 **24%** など

高齢者の体力、健康、生きがいや気力等が増進

- 生きがいや気力が増進した人 **34%**
- 健康状態が良くなった人 **19%** など

ポイント③ 堺市への経済波及効果が確認できました

(公益財団法人 堺都市政策研究所による算出)

利用者の外出増加により堺市内で年間約54.3億円を消費

- 「おでかけ応援バス」の全利用者ベースの年間消費額 **約126.4億円**
- 「おでかけ応援バス」があることで外出増加した利用者ベースの年間消費額 **約 54.3億円**

経費(約6.3億円)に対して、約8.8倍の経済波及効果(約55.7億円)

- 「おでかけ応援バス」の全利用者ベースの年間経済波及効果 **約129.8億円**
- 「おでかけ応援バス」があることで増加した利用者ベースの年間経済波及効果 **約 55.7億円**

- 検証により上記の効果が確認できました。
- 今後も公共交通の利用促進及び高齢者の社会参加が図れるよう、制度を維持していきます。